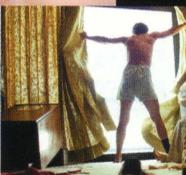
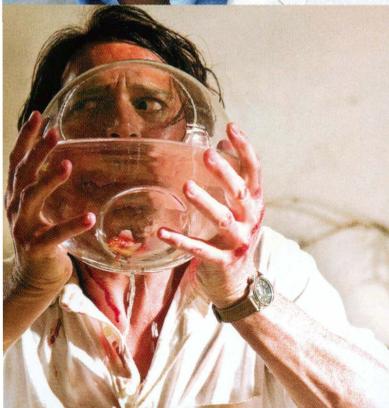
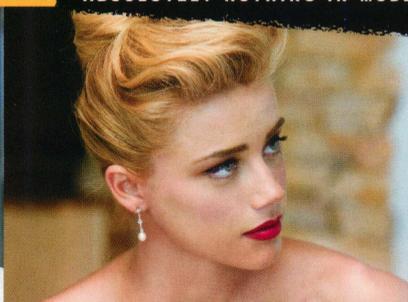
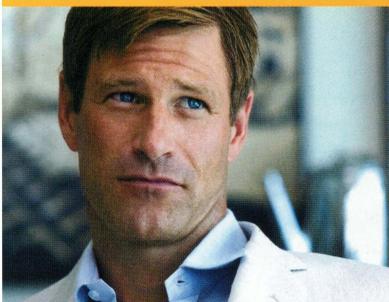


最低な毎日は“最高”だ。

ジョニー・デップ

ラム・ダイアリー

the **RUM** DIARY
ABSOLUTELY NOTHING IN MODERATION



監督・脚本:ブルース・ロビンソン 原作:ハンター・S・トンブソン

アンバー・ハード アーロン・エッカート マイケル・リスポリ リチャード・ジェンクス ジョヴァンニ・リビシ
[ザ・ウォード/監禁病棟] [ダークナイト] [キック・アス] [食べて、折って、恋をして!] [アバター]

配給:ショウゲート

協力:ワーナー・ホーム・ビデオ&デジタル・ディストリビューション

2011年/アメリカ/カラー/ビスタサイズ/120分/原題:the RUM DIARY

©2011 GK FILMS, LLC. ALL RIGHTS RESERVED.

GK FILMS PRESENTS A GK FILMS PRODUCTION A HUNTER S TOMBSON FILM featuring JOHNNY DEPP "THE RUM DIARY" AARON ECKHART MICHAEL RISPOLI RICHARD JENKINS GIOVANNI RIBISI
EXECUTIVE PRODUCERS: CHRISTOPHER YOUNG JOSHUA CALLETTA OTTAVIO PRODUCED BY CAROL LITTLETON, A.C.E.

WRITTEN BY PETER HORN DIRECTED BY BRUCE ROBINSON COSTUME DESIGNER: GEORGE TROTTOR EXECUTIVE PRODUCERS: CHRIS SHAPIRO CALIN YOUNG PRODUCED BY JOHNNY DEPP CAROL LITTLETON ANTHONY BULLER ROBERT HAYES TIM WEDDINGSTEIN CAROL HING
EDITED BY GUY BOUVER STROPPSON

GK FILMS

FILMENGINE

rum-diary.jp

R15+

夏のプエルトリコで巻き起こる、トラブルまみれの日々とスリリングなラブロマンス

こんなに楽しそうなジョニー・デップは、見たことがない!!

—Steve Prokopy, AIN'T IT COOL NEWS

サンダーソンの愛人:
シュノー(アンバー・ハード)
ケンプとの運命的な出会いで、大きく変わっていく…



愛人

CHENAULT

スリリングな恋

PAUL KEMP

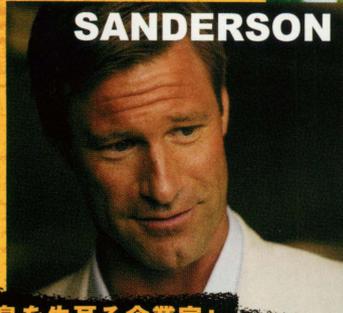
敵対

最後の対決はいかに?!

ジャーナリスト:ポール・ケンブ
(ジョニー・デップ)

ニューヨークから、カリブ海に浮ぶ島プエルトリコへやってきたジャーナリスト。働き始めた地元の新聞社で出会った記者仲間たちのトラブルに巻き込まれ続ける日々の中で、魅惑的な女性シュノーと出会う。そして彼女の愛人、サンダーソンによって大きな陰謀に加担させられそうになるが…

SANDERSON



島を牛耳る企業家:

サンダーソン(アロン・エッカート)
アメリカ企業家。リゾート開発の悪事にケンブを巻き込もうとするが…



無能な記者仲間たち:

ボブ(マイケル・リスポリ) & モバーク(ジョヴァンニ・リビシ)
好物は、ラム酒と葉巻。ケンプの情熱に影響され、サンダーソンとの最終対決に参戦?!



神経過敏な編集長:

ロッターマン(リチャード・ジェンキンス)
ケンプが動いている地元新聞の編集長。いつも機嫌が悪い。

仕事も恋も、
全力で楽しめ!

真夏のプエルトリコで繰り広げられる、
無能な記者仲間たちとの最低な日々と、
危険なラブロマンス。
ジョニー・デップのキュートな素顔が
全開の“最高傑作”が登場!



ジョニー・デップが敬愛してやまない、ジャーナリズム界のロックスターと称された故ハンター・S・トンプソンの原作を、自身の企画・製作・主演で完全映画化。親友に捧げた“運命の作品”!

1990年代のある日、ジョニー・デップがハンター・S・トンプソン宅を訪れていた時、偶然「ラム・ダイアリー」の手書き原稿を発見し、その日のうちに2人はその小説を出版し、映画化する約束をした。約20年の歳月を経て完成したこの映画には、故人となったトンプソンへの深い愛情と賛辞が込められている。「撮影の間中ずっとハンターと一緒にいると感じて幸せだった」とジョニー・デップは語る。「もし彼が完成した映画を観ることができていたら、歓声を上げただろう。「いいね、やり遂げたぞ! 素晴らしい!」とね。きっと浮かれ騒いだに違いない。この映画はハンターの言葉や彼が見つけた彼の自身の声に対する賛辞なんだ。彼なら本当に喜んでくれる。そう確信しているよ!」

公式サイト: rum-diary.jp twitter http://twitter.com/rumdiary2012 facebook http://www.facebook.com/rumdiary2012

6.30 [sat.]
ROADSHOW

特別鑑賞券¥1,300 絶賛発売中!

＜劇場前売特典＞ 海外版オリジナルポストカード
2枚セット(非売品)をプレゼント! (一部劇場除く/数量限定)
★上映劇場、前売券取り扱い劇場等の詳細は、公式サイトをご覧ください。

新宿駅東口・伊勢丹メンズ館そば
新宿ピカデリー
www.shinjukupiccadilly.com
03(5367)1144

公園通り入り口・マルイシティ向かい
渋谷HUMA Xシネマ
www.humax-cinema.co.jp
03(3462)2539

東口サンシャイン60通り・東急ハンズ手前
池袋HUMA Xシネマズ
www.humax-cinema.co.jp
03(5979)1660